

ふれあい



第 186 号
平成26年12月1日



▲ボランティアバス出発式



▲街頭募金活動



▲現地でのボランティア活動

復興への 願いを込めて…

いま、わたしたちができること

安佐南区
災害ボランティアセンター



[特集] 市内各地で社協のまつり開催!! ～広がる笑顔、広がる地域の絆～

(関連記事：4～5頁)

… も く じ …

- 東広島市社協新会長挨拶 2 頁
- 第 6 回「社協のつどい」を開催します!! 2 頁
- 8.20 広島土砂災害 東広島市社協の取り組み 3 頁
- 「特集」市内各地で社協のまつり開催!!
～東広島健康福祉まつり・河内福祉ふれあいまつり・
黒瀬町健康福祉まつり..... 4～5 頁
- 東広島市社協『福祉教育かわら版』..... 6 頁
- 寄付のご報告(平成 26 年 8 月～平成 26 年 10 月) ... 7 頁
- 平成 26 年度広島県大雨災害義援金のご報告 7 頁
- お知らせコーナー 8 頁

8月20日未明に発生した広島土砂災害。東広島市社協では、ボランティアバスの運行、安佐南区災害ボランティアセンターへの職員派遣、資機材(角スコップ、軽トラック、マイクロバス等)の提供、義援金の受付などを行ってきました。

現地でのボランティア活動や義援金募集についても、多くの皆様にご協力いただきました。「何か役に立ちたい」その思いがひとつになり、被災地復興支援の輪を広げています。

「みんなのちからにありがとう」

(関連記事：3ページ)

この広報紙は赤い羽根共同募金の配分金を活用しています。



会長就任ごあいさつ



社会福祉法人
東広島市社会福祉協議会
会長 富吉 邦彦

初冬の候 皆様におかれましては、日頃より地域福祉活動の推進に、深いご理解と多大なるご協力を賜り心より厚くお礼申し上げます。

去る十月十七日、長きにわたりご尽力いただきました山内前会長の後任として、東広島市社会福祉協議会会長に就任いたしました。

微力ではございますが、地域福祉の推進と充実、発展に向けて、誠心誠意、その職責を全うするよう努めてまいります所存でございます。

さて、今日の少子高齢化の進行や地域のつながりの希薄化など地域社会を取り巻く環境が大きく変化する中、社会福祉協議会には、地域の支え合いによる地域福祉の推進役として大きな期待が寄せられているところであります。

当協議会では、地域福祉活動計画による「あったか笑顔のまちづくりプラン」に基づき、地域サロンや地区社協活動の推進、高齢者や障害者の自立支援など、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる福祉のまちづくりの実現に向けて取り組んでおります。

地域に根ざした地域福祉活動を展開していくためには、市民協働のまちづくりの理念により、地域住民の参加はもとより行政、ボランティア、福祉団体等と連携・協働した地域での助け合いや支え合いによる地域づくりが必要であると考えております。

今後とも、前会長同様、皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

～地域の皆さんへ感謝の気持ちを届けたい～

第6回「社協のつどい」を開催します!!



▲コンサート
黒瀬中学校吹奏楽部

“社協のつどい”は、日ごろから社協を支援していただいている方々への感謝の集いです。

「あったか笑顔のまちづくり」を推進していただいている地区社協、地域サロン、あったか応援センター、そよかぜねっと、熟年大学の皆さんや、いつも社協を温かくご支援いただいている行政、住民自治協議会、民生委員児童委員協議会の皆さんと社協の役員、職員が一堂に会し、活動の発表や講演会を通して、お互いの活動を理解し合い、地域福祉について一緒に考え、学び、交流を深めることを目的に開催します。

地域の皆さん、ぜひお越しください。

《写真：昨年度の様子》



▲記念講演
「3.11 から
～カキ養殖復活に賭ける～」



◀わが町自慢発表
「学生ボランティアの取り組み」

- 日 平成27年1月25日(日) 13時～16時20分
- 場 東広島市総合福祉センター(西条町土与丸)
- 内
 - ・オープニングセレモニー
 - ・東広島市社協会長表彰 表彰式
 - ・わが町自慢発表
 - ・ミニコンサート
 - ・寸劇「劇団そよかぜ」
 - ・記念講演
 - ・社協提供番組 社協発!「笑顔」サテライト公開生放送
 - ・喫茶コーナー(つばさ) etc.
- 問 本所(企画福祉課)





8.20 広島土砂災害 東広島市社協の 取り組み

広島市被災者支援バスの運行 (8月23日～9月27日)

現地で災害ボランティア活動を行うためにボランティアを募集し、安佐南区災害ボランティアセンターに向けてボランティアバスを運行しました。

—全9回運行、ボランティア延べ267人・社協役職員延べ60人が集結、活動—



▲大量の土砂を土嚢袋へ



▲第1回ボランティアバス運行参加者 91名

◎全9回のバス運行に伴い、(有)芸州観光様にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

今こそ!! 想いを行動に!!

活動者の声

自分の命・家族・住まいなど「財産」を守るための防災意識の大切さ



社協員 高男さん (河内町)

個人的にも何度もボランティア活動に行きました。毘沙門堂(緑井)の活動では、「安全な場所」と言われていた神社さえ、自然災害の破壊力にはかなわない事を実感。

大変な状況の中、自分達に気遣いおむすびなどを準備してくださった被災者の方々。女性や中高年の方が懸命に土砂撤去作業に従事していると、若者や男性がカバーする「ボランティア同士の思いやり」の姿。たくさんの方の優しさに触れました。

今後は、「明日は我が身」その事を胸に、次世代の命を守る防災活動を、地域で取り組んでいきたいと語っていただきました。

心に刻まれた被災された方の「ありがとう」の言葉



勤務先：豊国工業株式会社(西条町) 写真左から、塚 佑一郎さん、金光 敬史さん、森瀬 岳志さん

「自分達も何か役に立てれば」という強い思いで、会社仲間3名と活動しました。ある区長さんのお家で泥かきの手伝いをした時の事。「自分1人じゃどうにもならなかった。来てくれて助かった。ありがとう」その言葉が心に響き、活動して良かったと感じました。

今後も「困っている人がいたら助ける」という支え合いの気持ちを大切に、会社での地域貢献活動にも取り組んでいきたいと語っていただきました。

安佐南区災害ボランティアセンター 運営支援に係る社協職員延べ14名派遣

広島県大雨災害 義援金の受付



▲現地災害ボランティアセンターの様子 (八木サテライト)



▲現地ボランティアへ活動前のオリエンテーション

広島県社協の派遣要請により、安佐南区災害ボランティアセンター運営支援(立ち上げ支援、ボランティア需給調整等)を行いました。



8月22日より義援金の受付を開始し、市と合同での街頭募金を、西条駅・フジグラン東広島で実施しました。

◎被災地でのボランティア活動等に関するご相談・お問合せは本所(総務課)まで…。

